

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1724		
科目名	日本語Ⅳ		
担当教員	山崎 眞紀子, 縣 正子		
対象学年	1年, 2年, 3年, 4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 2		
講義室	国際交流センター	単位区分	必, 選必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養と市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観、動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。 DP4-I〔表現力・分析力〕文章表現を扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析を円滑に粉うことができる。 DP6-K〔表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解（10%） A2 異文化適応、言語的コミュニケーション（10%） D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加（40%） I1 内容理解、文理構造の分析、解釈、読者の声（15%） I2 表現、コミュニケーション（5%） K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開（10%） K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び（10%）		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	2進期～3発展期		

科目概要・キーワード	基本的なコミュニケーション力を養い、場面に応じた適切なコミュニケーションが日本語でできるようになることが目標である。授業形態は演習により行う。なお、授業を補完・代替するため、オンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型・または両方を並行）を取り入れます。	
授業の趣旨	■副題 大学教育の授業を理解し、課題に取り組み、日常生活を送るのに不都合のない日本語力、表現力を身につけましょう。 ■授業の目的 大学生活や市民生活を送るうえで必要な表現力、対話力を修得し、他者理解能力などを身につけます。日本文化を理解し、グローバルな視点で物事を考えられる力を養います。 初級レベルの日本語力を身に付け、日本の精神文化を理解し、学んだ日本語を使って、日常生活や大学生活において基本的なコミュニケーションが出来るようになることを目的とします。	
総合到達目標	■グローバルパーソンとしてコミュニケーションできる能力を高めるために、日本語の基礎知識を習得する。また、文章及び口頭で自らの考えを的確に表現し、日常生活に必要な基本的なコミュニケーション能力を身につける。 ・ひらがな・カタカナの読み書きができる。 ・発音体系を理解し、正確に発音することができる。 ・日本語の基本的な構造、時制、文章の連結方法を理解し、正確に使うことができる。 ・買い物、道の尋ね方、交通機関の利用など日常生活で必要とする表現が自然にできる。	
成績評価方法	■リアクションペーパー 100% 評価の観点) 日常生活で必要とする簡単な表現が日本語でコミュニケーションできるかを評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行います。	
履修条件	『日本語Ⅲ』を履修した外国人留学生	
履修上の注意点	毎日学習しましょう。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 『日本語Ⅲ』の全般的な復習と本授業の内容、目標、注意点、成績評価などの説明（K1、I2）。 ③予習（60分） シラバスを確認する。 ④復習（60分） 『日本語Ⅲ』の全般的な復習をする
	2	①授業テーマ 第7課 勧誘・申し出の表現 ②授業概要 勧誘・申し出の表現の文型を学び、理由を述べたり状況を説明しながら、実践的に勧誘・申し出の表現を使えるようにする(A1、K2、L2)。 ③予習（60分） テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
	3	①授業テーマ 第8課「て形」表現 ②授業概要

	「て形」を用いて、動作や状態の継続を表現する用法を学び「て形」を使って簡単な読みや会話をできるようにする (K2, I2)。 ③予習 (60分) テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
4	①授業テーマ 第9課「た形」表現 ②授業概要 「た形」の用法と活用を学習し、簡単な読み書きや会話をできるようにする (K2, I2)。 ③予習 (60分) テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
5	①授業テーマ 第9課 要求・希望表現 ②授業概要 自分の欲求や希望を述べる表現を学び、簡単な読み書きや会話で使えるようにする(K1、K2)。 ③予習 (60分) テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
6	①授業テーマ 第10課「て形」活用方法 ②授業概要 「て形」の用法と復習。実践的に「て形」を使って指示や注意する表現が言えるようにする(I1、K2)。 ③予習 (60分) テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
7	①授業テーマ 第11課 許可・禁止表現を学ぶ ②授業概要 「ない形」の用法を学び、規則や禁止事項、相手にある行為をしないように依頼する表現が言え、読めるようにする (I1, I2, K1, K2)。 ③予習 (60分) テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
8	①授業テーマ これまでの学習内容の理解度を確認する。 ②授業概要 今まで授業で学んだことが理解できているかコメントペーパーで確認する (D1、I1、K1) 。 ③予習 (60分) 今まで授業で学んだことを復習する。 ④復習 (60分) わからなかった部分を再確認する。

9	①授業テーマ 第12課 アドバイスをする表現 ②授業概要 「～た方がいいです」の用法を学び、実践的にアドバイスをする表現を使えるようにする(A1、K1、K2)。 ③予習 (60分) テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
10	①授業テーマ 第12課 行為の並列 ②授業概要 「～たり～たり」の用法を学び、動作のいくつかを例としてあげる表現を実践的に使えるようにする(D1、I1)。 ③予習 (60分) テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
11	①授業テーマ 第13課 連続した行為の表現 ②授業概要 行動や手順を順を追って言える練習をし、会話文として使える簡単な文を書けるようにする(D1、I1、K1、K2)。 ③予習 (60分) テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
12	①授業テーマ 第13課 時を表す従属節 ②授業概要 「～とき」、「～ながら」の用法を用いて、毎日の生活について話す表現を学び、自分で読み書きや簡単な会話で使えるようにする(D1、I1、K1、K2)。 ③予習 (60分) テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
13	①授業テーマ 第14課 動詞の名詞化 ②授業概要 「～すること」、「～(する)の」の用法を学び、自分の趣味や好きなことについて、実践的に使えるようにする(A1、K1、K2)。 ③予習 (60分) テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
14	①授業テーマ 第15課 未来を表す表現 ②授業概要 自分の未来や、将来の希望、予定を表す表現を学び、実践的に読み、書き、会話の場で使えるようにする(A1、K1、K2)。 ③予習 (60分)

	テキストを読み、新しい単語の意味を調べておく。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現を声に出して繰り返し練習をする。
15	①授業テーマ コメントペーパーのフィードバック。解説を受け、修得していない部分を学習する。 ②授業概要 今まで授業で学んだことが理解できているか確認したあと、出来ていないところを理解するためのフィードバックの解説を受ける（A1、A2、D1、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 今まで授業で学んだことを復習する。 ④復習（60分） 今まで授業で学んだ表現・文型使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習しておく。何度も声に出して練習する。
関連科目	日本語Ⅱ（RMGT/SSCS 1722）
教科書	『NEJテーマで学ぶ基礎日本語VOL.1』くろしお出版 『NEJテーマで学ぶ基礎日本語VOL.2』くろしお出版
参考書・参考URL	必要に応じて授業内で伝えます。
連絡先・オフィスアワー	507研究室・火曜日の2時限目
研究比率	

